

1. 特別賞受賞作品

◆静岡市長賞

静岡市立 清水不二見小学校 6年

竹内 生真

「そんなのあたりまえ」

お母さんは、お風呂に
「一人のんびり入りたい。」
と、言うけれど
「ぼくがいないと広すぎるよね。」

お母さんは、ご飯を
「一人ゆっくり食べたい。」
って言うけれど
「皆で食べるからおいしいよね。」

お母さんは、寝る時、
「大の字で寝たい。」
って言うけれど
「ぼくがいないと、寒いよね。」

ぼくは赤ちゃんだと言われても
ずっと一緒だよ、お母さん。
そんなのあたりまえだよね。

1. 特別賞受賞作品

◆静岡市議会議長賞

静岡市立 安東中学校

2年

安藤 ゆめ乃

「父の靴」

父の帰りは、いつも夜遅い。
だから朝しか会えない。

そんな父に、私ができること。
それは、靴みがき。

毎朝靴みがきしながら思うこと。
かかとがへってきた。
靴にしわが増えてきた。
だんだん形が崩れてきた。

こんなになるまで頑張っている父。
そんな父を運ぶ、大切な靴。
だから私は靴みがきをする。

私からのありがとうの気持ちをの
せて。

1. 特別賞受賞作品

◆静岡市教育委員会教育長賞

静岡市立 大河内小学校

4年

望月 大誠

「天国のパパ」

サッカーでゴールをきめたよ
算数で わり算をやったよ。
クロールで 25M泳げたよ。
リコーダーのテストに合格したよ。

今日も 空の上から
見ていてくれたかなあ。

ぼくの がんばりを
見ていてくれたかなあ。

「天国のパパ ありがとう。」

パパが 見ていてくれたから
今日も ラッキーな一日だったよ。

1. 特別賞受賞作品

◆静岡市校長会会長賞

静岡市立 服織西小学校

6年

鈴木 愛津沙

「大きな手」

その大きな手は働き者
その大きな手は力がある
その大きな手は
オムライスを作って
私と妹を喜ばせる
その大きな手はやさしく温かく
家族を包んでくれる
私は
そんなお父さんの手を
ぎゅつとにぎる

1. 特別賞受賞作品

◆静岡市PTA連絡協議会会長賞

静岡市立 安東中学校

2年

川合 譲

ぼくの母は背が低く 小太りだ

ぼくの母はいつも怒る

まるではんにゃみたいだ

そんな母は金曜日にカレーを作る

そのカレーが激旨だ

一週間学校で頑張った

ぼくの脳みそと体は生きかえる

ぼくの母が作るカレーは

ぼくにとってのエネルギーだ

これからも激旨カレーよろしく

いつかぼくがカレーを作るよ

お母さんの笑顔が見たいから

2. 優秀賞受賞作品

静岡市立 横内小学校

4年

山本 朱音

「ふしぎな手」

お母さんの右手とわたしの左手
いつもようち園に行く時つないだ手
おいしいおやつを作ってくれる手
ミシンでバックを作ってくれる手
けがをした時ばんそうこうをはって
くれる手
おにぎりをにぎってくれる手
ねむれない時にそおっとおなかを
トントンしてくれるお母さんの手は
ふしぎだな いつのまにかねむく
なるんだ
「いたいの いたいの 飛んでけー」
というと本当になおっちゃう気が
するんだ。
まほうの力があるのかな
お母さんの手 あたたかくて
いいにおい

2. 優秀賞受賞作品

静岡市立 竜南小学校

4年

寺田 捷人

「はたふりの山内さん」

雨の日も暑い日も
ぼくたちの安全を
守ってくれて
ありがとう

道で会っても
え顔であいさつしてくれる
山内さん

ぼくもそんな
やさしい
大人になりたいな

次は ぼくが
子どもたちを守る番

2. 優秀賞受賞作品

静岡市立 清水入江小学校 4年

松田 岳歩

「魔法の言葉」

ぼくは、文章問題が大きらいだ
言葉が頭の中をぐるぐる回る
「もう一回読んでごらん」
もう読んだ、前と同じだよ
「大事なところに線を引いてごらん」

考えながら読んでみる
あれ、だんだん内容がわかってくる
やっとなげたぞ、次は？
どんどんやる気がわいてくる
ママの言葉は、
勉強のめい路に
まよったぼくに
案内をしてくれる
魔法の言葉

2. 優秀賞受賞作品

静岡市立 中藁科小学校

4年

谷津 みなも

「おばあちゃんの手」

おばあちゃんの手それはあたたか
かくてやわらかい。
おばあちゃんの手それはごつごつ
しててすごいぬくもりがある。
おばあちゃんの手それはだれにも
まねできない手。
おばあちゃんの手それはわたしを
いやしてくれるすごいまほうの手。

2. 優秀賞受賞作品

静岡市立 井宮北小学校

4年

成田 倫太郎

「お父さん」

ぼくがおきたらいるけれど

ぼくがかえってきたらいない

ねようとしてもお父さんは、いない
いったいいつねているんだろう

だけど日曜日には
ごろごろしているお父さんがいる。
月曜から土曜までは
いないけど
日曜日だけはいる

その日がぼくにとって一番大切

2. 優秀賞受賞作品

静岡市立 安倍口小学校

6年

奥津 直樹

「お母さんのお弁当」

お母さんが作るお弁当
作るの大変じゃあないかって
いつもぼくは思っていたけれど
にっこりわらって、
「中身がからっぽなら
うれしいわ。」

ちっとも大変じゃないって
お母さんすごいな。
愛情いっぱいのお弁当、
もうこれからは残せないな。

2. 優秀賞受賞作品

静岡市立 安東小学校

6年

鈴木 陶也

「すりきれた僕のスパイク」

練習のとき、
試合のとき、
すりきれた僕のスパイクは、
よくすべるようになってきた。
お父さんに何も言っていない。
なのに、
試合のあと、
スパイクの裏を見て、
「そろそろ買うか？」
とってくれた。
何も言わなくても、
気付いてくれたんだ。
見ていてくれたんだ。
僕は心の中で
泣きそうなくらい嬉しかった。
けど、ぐっところえて、
「うん。買って欲しい。」
とだけ答えた。

2. 優秀賞受賞作品

静岡市立 賤機中小学校

6年

有馬 彩乃

「私の安心する場所」

お父さんのひざの上。
いやがられても意地でも座りたく
なっちゃう。

ママの大きなお腹。
ポヨンポヨンのまくらみたい。

お父さんのふとんの中
温かくってお父さんのにおいで
いっぱい

ママとのお風呂。
心につかえていた事がサラッと
言えて心も体もスッキリ。

こんなにあった私の安心する場所。

2. 優秀賞受賞作品

静岡市立 清水飯田中学校 2年 岸山 祐己

大人は三倍だ。

力が三倍、
肩幅が三倍、
食べる量が三倍、

なぜこんなに力強いのだろう。

汗が三倍
涙が三倍

なぜこんなに優しいのだろう。

でも、それはきっと
三倍失敗して、
三倍怒られて、
三倍頑張ったから。

2. 優秀賞受賞作品

静岡市立 清水第二中学校 2年 望月 えりか

「小さいことだけど」

私が歩いていた時に
一台の自転車とすれ違った
乗っていたその人の
ポケットから
ヒラヒラと小さい何かが
舞い落ちた
思わず拾うとガムのゴミ
その人は自転車を止めて
「ありがとう」
と言って
「自分のゴミは自分で捨てる」
と笑顔で言った
小さい小さいことだけど
当たり前のことを
当たり前出来る
その人を
私は今だに
忘れられない

2. 優秀賞受賞作品

静岡市立 清水第七中学校 2年

松浦 杏美

毎朝 横断歩道に立って「おはよう。」
と明るい笑顔で子供達に
声をかけやさしく見守る人

団地の入り口の花壇 一年中色
とりどりの花で飾りいつも世話
をしている人

通学途中 神社脇の歩道ではいても
はいても落ちてくる枯れ葉を
欠かさず掃除をしてくれる人

下校途中 必ず向こうから誰にでも
あいさつをかわす笑顔の絶えない
新聞配達の人

日が暮れる時 ハイキングコースの
雑草を汗水たらし黙々と刈っている人

何が得られるわけでもなく、誰から
頼まれたわけでもないのに

こんな人達がたくさんいるこの町で
育ったことを私は誇りに思う

わがまちのアンサングヒーロー達 ※

※アンサングヒーローとは、縁の下の力持ちのことを言う。

2. 優秀賞受賞作品

静岡市立 清水梅ヶ島中学校 2年

志村 萌

「心の中で」

「今日学校どうだった？」

「まあ、楽しかったよ。」

「・・・。」

気がつけば 前よりも

会話が少なくなったかな

母に反抗してしまうことも

増えたのかもしれない

母のさみしそうな顔を見るのも

増えたのかもしれない

でもね

上手く伝えられないだけなんだ

恥ずかしいから言えないんだ

いつも私を

心配してくれるお母さん

心の中で思っているよ

『いつもありがとう』

3. 優良賞受賞作品

静岡市立 城内中学校

2年

井伊谷 繭

いつも、いいなって思っていた。
友達が忘れ物を届けてもらうとき。

お母さんは
忘れ物を届けてくれない。
忘れ物をしたとき
私はじっとうつむいて
時がたつのをひたすら待った。
もう忘れ物は絶対しない。
そう思っつらい時間を耐えた。

今、私は
忘れ物をほとんどしない。
自分でやったことは、
自分で責任をとらなきゃならない。
お母さんが教えてくれたこと
しっかりわかっているから。

厳しくも優しい
お母さんの愛の形。

3. 優良賞受賞作品

静岡市立 高松中学校

2年

平沢 桃香

「いってらっしゃい」
笑顔でそう言われると
「いってきます」
ついそう言ってしまう
あんまり行きたくないんだけどね
でも
「おかえり」
その言葉が笑顔が私をいやす
「ただいま」
ああ頑張ってたよ

今日も早く聞きたいよ
「おかえり」
にっこり笑ってそう言って
私の大好きな優しい声で

3. 優良賞受賞作品

静岡市立 梅ヶ島中学校 2年 藤井 秀峰

「僕の父」

朝早くから家を出る父

夜おそくに帰ってくる父

たまにラーメンを作ってくれる父

勉強を教えてくれる父

休日にバイオリンをひく父

政治の話をお話してくれる父

僕の力強く、知的で、優しい父

僕も父のようにありたい。

3. 優良賞受賞作品

静岡市立 清水両河内中学校 2年

米津 英莉

「原動力」

「がんばったね。」
母はいつもこう言う
ちょっとお皿を洗ったとき
体育祭で応援団をやったとき
部活の一年生大会にでたとき
失敗しても
負けてしまっても
母はわたしを
勇気づけてくれる
自信をつけさせてくれる
やる気をひきだしてくれる
どんなことも
がんばれる
母にほめられたいから
そんな
母の魔法の言葉は
わたしの原動力になっている

3. 優良賞受賞作品

静岡市立 東豊田中学校

2年

伊藤 彩夏

私とお母さんは、似ている。

忘れっぽいところ、

怒りっぽいところ、

明るいところ、

運動が得意なところ。

でもこれは全然ちがう。

料理や洗たくなど家事ができるところ。

私は、全くできない。

煮魚を作るのにすごく苦勞したのに、

お母さんは、ささっとやってのけてしまう。

洗たく機を動かす事もあやふやなのに、

早技みたいにどんどん進めてく。

私は将来なれるだろうか、

お母さんのような

素敵な人に。

3. 優良賞受賞作品

静岡市立 大里西小学校 6年 榊原 優太

「お父さんとお母さんの愛」

お父さんとお母さんは仲がいい。
朝の合言葉、
「いってらっしゃい、頑張ってるね。」
いつも二人で言ってくれる。
ぼくはそれで元気がでる。
午後の合言葉、
「おかえり、今日どうだった。」
お父さんはいないけど二人で言っ
ているように聞こえてくる。
夜の合言葉、
「おやすみ、おつかれさま。」
一日の終わりはいつもこれ。
こんな息を合わせ言えるなんて
二人の愛がすごいんだ。
ぼくの夢はかわらない。
二人がずっと仲がいいように。
お父さんお母さんお願いね。

3. 優良賞受賞作品

静岡市立 富士見小学校 6年 小川 月菜

私は、正直言うとお母さんの事
好きじゃない。けど、きらいでもない。

お母さんがそばにいるのはいや
だけど、はなれたくはない。

すぐ怒って、すぐけんかする。
私のお母さん。

でもね、お母さん。私を産んで
くれた事、見えない所で私を見守
ってくれる事、私を育ててくれる事。

今はちょっと恥ずかしくて言えない
けどさ。今度ちゃんと伝えるね。

ありがとうって。

3. 優良賞受賞作品

静岡市立 清水江尻小学校 6年 石川 富貴

「私のお父さん」

私のお父さん
私のお父さんってすごい
なんでも知っている
どんなことでもおしえてくれた
どんなことでもしてくれた
だから、ほめてくれた
だから、おこってくれた

お父さんありがとう♡

天国ってどんななの？

私は、さみしい
でもなかない

だって 大好きだから

3. 優良賞受賞作品

静岡市立 東源台小学校

6年

高井 可奈

「お父さんのにおい」

お父さんはあせくさい
帰ってきたらあせだらけ

けれどどんなにくさくても
どんなにあせだらけでも

仕事を休まず毎日、毎日
働いてる

家族やみんなのために
働いてる

どんなにあせくさくても
どんなにあせだらけでも

そんなみんなのために働くお父さんは
私の自まんのお父さん

3. 優良賞受賞作品

静岡市立 東源台小学校 6年 関根 綾香

「大好きな姿」

私は地球にいる それは
私を産んでくれた人がいるから

毎日
野菜たちを
トントン コトコト

洋服たちをキラキラのお日様へ
ゆらゆら そよそよ

部屋のすみずみまで
ゴシゴシ ウィーン

全てを生まれかわらせてくれる

私へのあたたかさ
ずっと私を照らし続けてくれる
世界で一番の宝物

3. 優良賞受賞作品

静岡市立 中田小学校

4年

竹川 奈々

「ばあばはね」

ばあばとオセロ対決すると
わくわくするよ

ばあばとサスペンス見ると
けつまつがドキドキするよ

ばあばとおさんぽすると
うきうきするよ

ばあばが帰っちゃうと
めそめそしちゃうよ

ばあばはね
私の大親友

元気でいてね
ずっと ずっと

3. 優良賞受賞作品

静岡市立 西豊田小学校 4年 前田 姫果

「家族のにおい」

お父さんは仕事のかおりで
お母さんは家事のかおり。

おじいちゃんは、畑のかおりで
おばあちゃんは、やさしいかおり。

いとこのお姉ちゃんは
まねしたいかおりだ。

ペットのわんこは
とっても自由なかおりがする。

家族全員集まれば
みんないっしょの楽しいかおり

わたしはどんなかおりかな？

3. 優良賞受賞作品

静岡市立 清水有度第二小学4年

永井 尊

「自まんのおばあちゃん」

おばあちゃんってすごいよ。
おいしい野菜を畑でたくさん作って
いるよ。
ぼくは、枝豆が大好き。

おばあちゃんってすごいよ。
話をすると清水べんがポンポン出てきて
楽しいよ。
ぼくは、おもしろくてたまらない。

おばあちゃんってすごいよ。
とっても力もち。
年はぼくの8倍。
力はぼくの10倍。
でも最近足がいたいみたい。
早く大きくなって
ぼくがたくさんお手伝いをして
あげるよ。

3. 優良賞受賞作品

静岡市立 西奈小学校

4年

山田 拓真

「ぼくのパパ」

かみは茶色で
めがねは赤く
ちょっぴりお鼻は長いけど
なかなかハンサムぼくのパパ
お目めはくりっとしているよ
お口はミッキーマウス級
深く帽子をかぶったら
たちまちスマップ香取君
色が黒くて肩幅広く
ちょっぴりおなかは出てるけど
まあまあハンサムぼくのパパ
うではすらっと長いけど
足はそれほど長くない
こんな容姿のパパだけど
ぼくの中でナンバーワン
とってもハンサムぼくのパパ

3. 優良賞受賞作品

静岡市立 賤機中小学校

4年

繁田 次英

お母さんが、仕事から帰ってきた。

ぼくの顔を見て、すぐに

「今日、泣いたでしょ？」

と言った。

「泣いてない。」

と、ぼくは答えた。

お母さん、なんで分かったのかな？

ぼくは、考えた。

きっと、毎日ぼくの顔を見てるから

分かったのかな？

「本当はね、先生にしかられたんだよ。」

と、ぼくがいった。

そしたらお母さんが、

「ほらね。」

とわかっていたから、すごいと思った。

4. 佳作受賞作品

静岡市立 清水第三中学校 2年 篠田 楓

「ありがとう」の気持ち

わたしが学校から帰ってくると
いつもご飯ができています

お母さんだって疲れているのに
休まずいつも働いて
休まずいつも家事をして

感謝の気持ちはなかなか言えない

でも

ご飯を残さず食べるのが
私が伝えるせいっぱいの
「ありがとう」

4. 佳作受賞作品

静岡市立 大里中学校

2年

櫻井 努

「白いユニフォーム」

泥んこになったユニフォーム

次の日の朝

きれいになって畳んである

カバンに詰めながら思う

ありがとう

今日もがんばろう

4. 佳作受賞作品

静岡市立 蒲原中学校

2年

谷村 優斗

「しっかりしなさい」
僕ばかりいつも怒られる。
妹は、いつも怒られなくて
怒る父の後ろで
「ざまあみろ」
と言わんばかりの顔で僕を見る

いつも、どうして僕だけ
僕が、かわいくないのかな。
僕は、本当は、お父さんの子供
じゃないのかな。
たくさん不安と悲しみが頭を
よぎる。
でもある時、眠れない日があって
父さんと母さんの話を聞いて
しまった。
「やっぱり優斗がかわいいから
怒ってしまうんだよね。」
僕は妹に勝ったような気がして
てうれしかった。

そして、その時にわかったんだ。
父さんは、いつも僕の事を
心配してくれていたんだ。
父さんは、いつも僕の事を
思ってくれていたんだ。

ありがとう。父さん。

4. 佳作受賞作品

静岡市立 清水第六中学校 2年 小林 奏葉

月曜日
憂鬱な気分で家を出る
でも母のたった一言で
「今日もがんばろう。」って思えた

火曜日
夜おそくまで勉強していた
心配して私を気遣ってくれた父
なんだかうれしかった

水曜日
家族みんなで見っていたテレビ
家族3人笑うタイミングは同じ
ただそれだけで温かくなった。

木曜日
私の習い事の送り迎え
疲れてるのに笑ってくれる父
なぜか無意識に笑い返してた

金曜日
疲れきって帰宅
すでに私を待ってた温かい夕食
母の「お疲れ様」もついてきた

土曜日
休みかと思ったら部活
本当は「行きたくない」と思った
でも私を応援してくれる人がいた

日曜日
たくさんの幸せと愛情をもらって
今まで生きてきた。私は幸せ者。
明日も明後日もずっと、伝えるよ
「ありがとう」

明日からも、がんばろう。

4. 佳作受賞作品

静岡市立 清水第五中学校 2年 長澤 もも

「2人目のお母さん」

お母さんは週に四回ほど
おばあちゃんの病院へ行く
平日は一日中働いて私たちのご飯を
作ってでかけていく
帰ってくるのは十二時近い
お母さんのいない夕飯
もう慣れたけど時々さみしい
温かいご飯もなんだか冷たい感じ
お母さんのいない夜
お父さんが調子にのるの
妹がわがままを言うの
そしてケンカをするの
お母さんがいたらなあ・・・って
でも、お母さんはおばあちゃんも
大切だもんね
お手伝いも勉強もしなくてごめん
わたしもう少しがんばるから
この家の第二の母はわたしです

4. 佳作受賞作品

静岡市立 清水入江小学校 6年

渡辺 莉恩

「メール」

おじいちゃんに
「元気ですか」と
メールを送ってみた
送信できなかった
でもきっと天国に届いているよね
ぼくにいろいろな事を教えてくれた
おじいちゃん
生きているうちにいっぱいいっぱい
ありがとうといっておけばよかった

もうメールは、送れないから
僕は心の中でゆうんだ
おじいちゃん
「ありがとう」
「ありがとう」

4. 佳作受賞作品

静岡市立 賤機中小学校

6年

繁田 はな

いつも働いているじいじ
農家だから毎日働く
つかれてない？
休みたくないの？
でも
いつも笑顔
いつもやさしい
いつも話を聞いてくれる
いつも物知り
いつも一生けん命
じいじは私の
自まん
今度は
私が
じいじの自まんになるね

4. 佳作受賞作品

静岡市立 長田北小学校 6年 塩津 凌

「いつもありがとう」

ぼくの家は、3人家族です。
ぼくっちは、お父さんとお母さんは、
りこんしていてお父さんが毎日
家のかじをしています。

せんたくは、きれいにあらって
きれいにたたまれています。

あらいものは、いつもきれいに洗って
あります。

そうじは、そうじきできれいに
していて、たまに水ぶきでそうじを
していました。
3人かぞくでおしごと
朝よるにしごとをして
あまりねていないのに
いっしょうけんめいかじをしてくれて
いつもかんしゃしてます。
ありがとう。

4. 佳作受賞作品

静岡市立 服織小学校

6年

鈴木 真莉

「やさしい母」

つらい事があった日

しょぼしょぼ家に帰ったわたし

母にやさしく声をかけられた

つらかったことを聞いてくれた

やさしくだきしめてくれた

わたしを笑顔にしてくれた母

母にすごく愛されてると感じた

4. 佳作受賞作品

静岡市立 長田南小学校 6年 清水 菜穂

「本当は…お兄ちゃんのこと」

目が合うだけで
ちよつとぶつかるだけで、けんか
いつもいつも
けんかばかりで大っきらい
だけど…
暗い部屋・雨の音
かみなりの音・風の強い夜
こわい時・さみしい時
必ず声をかけてくれるお兄ちゃん
一人で大丈夫？一緒に行こうか？
たまに勉強も教えてくれる
すごくやさしい時もある
私にとっていないと困る人
本当は大好きかも…？
お兄ちゃんいつもありがとう
これからも
たくさんけんかしようね

4. 佳作受賞作品

静岡市立 清水飯田東小学校 4年

村松 祐哉

「ぼくの名前」

ぼくの名前は「祐哉」です。

お母さんがぼくを生む時に、
きゅう急車で運ばれました。

ぼくもお母さんもとても大へん
だったけど、ぼくがお母さんに協力
して生まれてきました。

だから、「たすける」という意味
の「祐」と、お父さんとお母さん
にとっての「一番の子」という
意味の「哉」で「祐哉」です。

ぼくは、この名前をすごく気に入っています。

これからもずっと「ゆうや」と
よんでほしいな。

4. 佳作受賞作品

静岡市立 清水三保第二小学4年

蒔苗 姫花

「おかあさんのゆび」

おかあさんのゆびは、
へんな形

おかあさんのゆびは、
まじよみたいにボコボコしてる
お医者さんに聞いてみたら
私も妹も同じゆびになるって

私はうれしかった
おかあさんといっしょに
いたかった

だけど そのゆびは、
悲しいけど空に去っていった
けど、わすれないよ
いつか、私も同じ形になる
そのゆびをね

4. 佳作受賞作品

静岡市立 蒲原西小学校 4年 栗原 未至

「わたしたちのためにありがとう」

交通整理のおじさん

暑い中、寒い中

ありがとう。

けいさつのおじさん

雨の中、風の中

ありがとう。

消ぼうしのおじさん

火の中、水の中

ありがとう。

おたがい名前もしらないけど、
わたしたちのためにありがとう。

4. 佳作受賞作品

静岡市立 北沼上小学校 4年 望月 匠

「朝ごはん」

いつも早起きのお母さん
どれくらい早く起きているのか
気になって
こっそり目ざまし時計を見てみた
そうしたら
五時二十五分！
おどろいた！
そんなに早い時間から
ごはんを作っていたんだなあ

今日も朝ごはん
おいしかったなあ

4. 佳作受賞作品

静岡市立 清水袖師小学校 4年 大場 燎

「やさしい言葉」

ぼくがなやんでいるという事を
言わなくても
気持ち分かってくれる
やさしい言葉をかけてくれる
ありがとうお父さん

ぼくがけがをすると
いたくないか だいじょうぶか
ちりょうしたか 気をつけろ
と心配してくれるお父さん

ぼくをあいしてくれるから
やさしい言葉をかけてくれる
心配してくれる
あいしてくれてありがとう
お父さん